

日経平均は歴代2位の13連騰。14連騰となれば1961年以来の歴代1位へ

マーケットの動き: 米国株は上昇も、香港株の下落とカタルーニャに注意

◆NYダウ、S&P500が小幅上昇する一方、ナスダックは下落。iPhone8向けの注文が削減されたとの報道からハイテク銘柄が下落する一方、公益事業セクターが上昇。アジアでは香港株が午後に急落。短期の市場金利上昇やレバレッジの解消が背景とみられる。またカタルーニャ州独立問題への警戒も高まり欧州株は下落。

今後の注目点: 日経平均の連騰記録、週末の総選挙、FRB議長人事

◆日経平均が本日も上昇した場合は、歴代1位タイとなる14連騰で1961年以来の記録となる。週末の総選挙では、自公連立は過半数（233議席）を大きく上回るとみられ警戒感は限定的。FRB議長人事は、遅くとも11月3日までに発表される方針が示されている。現時点ではパウエルFRB理事が優勢との報道あり。（永峯）

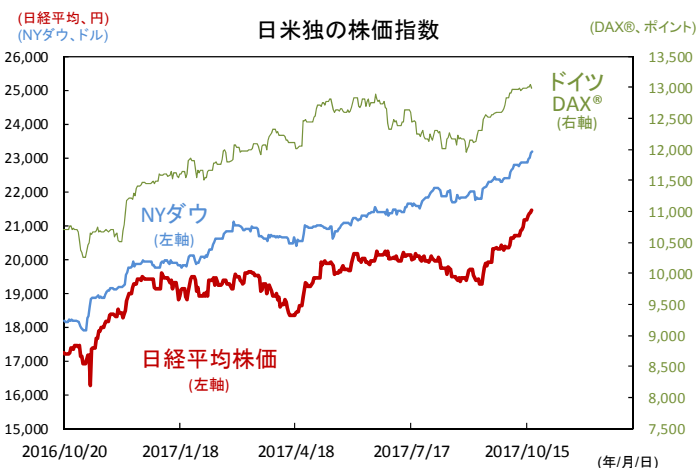
株式・長期金利・為替相場

| | 主要株価指数 | | | 長期金利:10年国債利回り(%) | | |
|----------------|-----------|---|-----------|------------------|--------|--------|
| | 日経平均株価 | NYダウ | ドイツDAX® | 日本 | 米国 | ドイツ |
| 前々営業日 (10月18日) | 21,363.05 | 23,157.60 | 13,043.03 | 0.065 | 2.347 | 0.396 |
| 前営業日 (10月19日) | 21,448.52 | 23,163.04 | 12,990.10 | 0.065 | 2.319 | 0.395 |
| 差 | 85.47 | 5.44 | ▲52.93 | 0.000 | ▲0.028 | ▲0.001 |
| CME日経平均先物 | 21,335.00 | : 米国時間10月19日(日本時間翌日早朝)時点、Bloombergによる期近物データ | | | | |

| | 主要通貨為替相場 | | | その他為替相場(対円) | | |
|----------------|----------|--------|--------|-------------|----------|---------|
| | ドル円 | ユーロドル | ユーロ円 | 豪ドル | ブラジル・レアル | インド・ルピー |
| 前々営業日 (10月18日) | 112.94 | 1.1787 | 133.12 | 88.61 | 35.61 | 1.736 |
| 前営業日 (10月19日) | 112.54 | 1.1852 | 133.38 | 88.66 | 35.50 | #N/A |
| 差 | ▲0.40 | 0.0065 | 0.26 | 0.05 | ▲0.11 | #N/A |

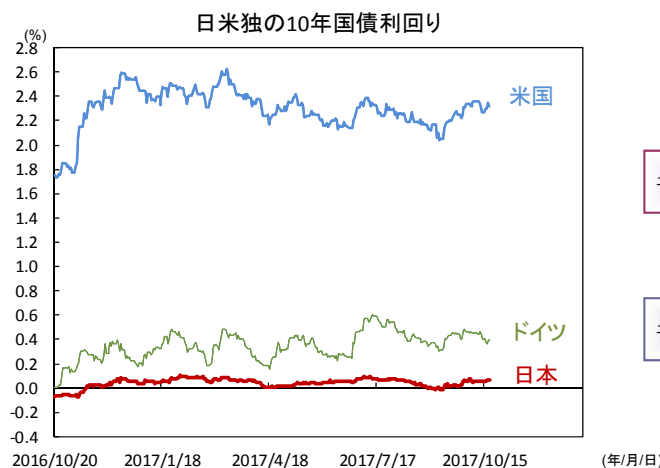
注) 株価指数の単位は、日経平均株価: 円、NYダウ: ドル、ドイツDAX: ポイント。CME: シカゴ・マーカンタイル取引所。CME日経平均先物はドル建て契約で、単位: ポイント。表中の数値は作成時点の数値であり、掲載時点の数値とは一致しない場合があります。前日比は原数値の比較であり、表記の数値とは四捨五入の関係で合致しない場合があります。本資料は、作成時点でBloombergにおける情報が更新されていない場合、数値を記載できないことがあり、その場合、「#N/A」と表示しています。また、取引所が休場であっても、Bloombergにおいて数値が掲載されている場合は、当該数値を記載していることがあります。出所) Bloombergより当社経済調査室作成

【株式】主要国の株価指数



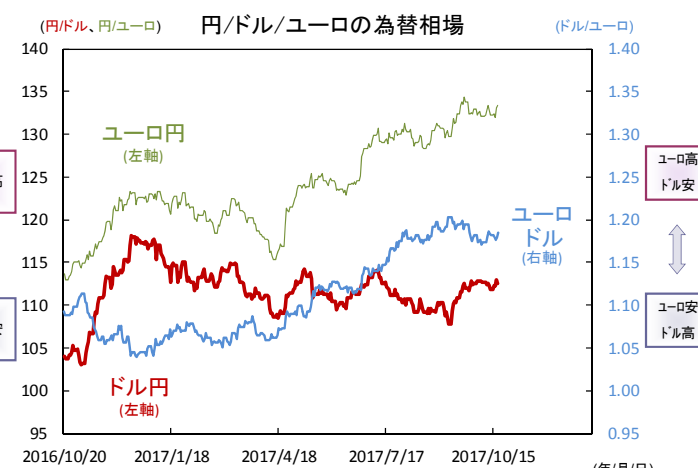
●日経平均株価は歴代2位タイとなる13連騰を達成。米国の堅調な景気や経済政策期待などが背景。データ改ざん問題があった神戸製鋼を含め鉄鋼株や非鉄金属株が上昇。

【金利】主要国の10年国債利回り



●米10年債利回りは低下。アジア株・欧州株の下落を受けて低下した後、米国株の持ち直しやフィラデルフィア連銀景況感が市場予想を上回るなかで、下げ幅を縮めた。

【為替】主要通貨の直物為替相場



●米ドル円は、米金利の低下などから113円近傍から112台半ば円高米ドル安。NZドルは対米ドルで1.71%下落。9年ぶりとなる政権交代への先行き不透明感が嫌気された。

注1) 上記3図の直近値は2017年10月19日

注2) Bloombergで情報が更新されていない場合は、使用可能な直近の営業日の値を表示

出所) Bloombergより当社経済調査室作成

本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJ国際投信が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 各ページのグラフ・データ等は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の三菱UFJ国際投信戦略運用部経済調査室の見解です。また、三菱UFJ国際投信が設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。

本資料中で使用している指数について

「日経平均株価」に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。
「DAX®」は、情報提供を目的としており、売買等を推奨するものではありません。



三菱UFJ国際投信

三菱UFJ国際投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会